

# 健康通信

<第2学年版>

名古屋市立滝ノ水中学校

保健室

## 薬物乱用防止教室

11月16日(水)5、6時間目に総合的な学習の時間で、「薬物乱用防止」についての学習をしました。講師として学校薬剤師の樋口先生に来ていただき、専門家の立場からもお話をいただきました。自分には全く関係ないと思っていた人も、意外なところから薬物にはまってってしまうことを知ることができたと思います。「薬物は絶対にダメ!」という意志をしっかりともち、自分の心と身体を大切にしてください。

### ☆スライドの内容の一部

**脱法ハーブ → 危険ドラッグ**

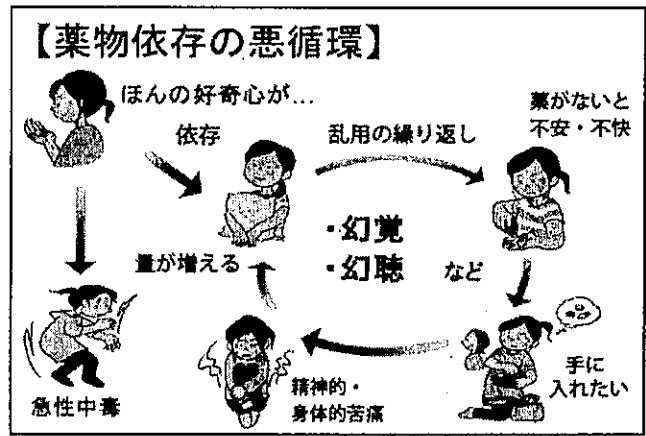
◆危険な薬物なのに...

- 法律にひっかからないから大丈夫
- “ハーブ”という言葉

◆安易な気持ちから手を出してしまい...

- 薬物依存
- 犯罪
- 交通死亡事故

} 深刻な社会問題

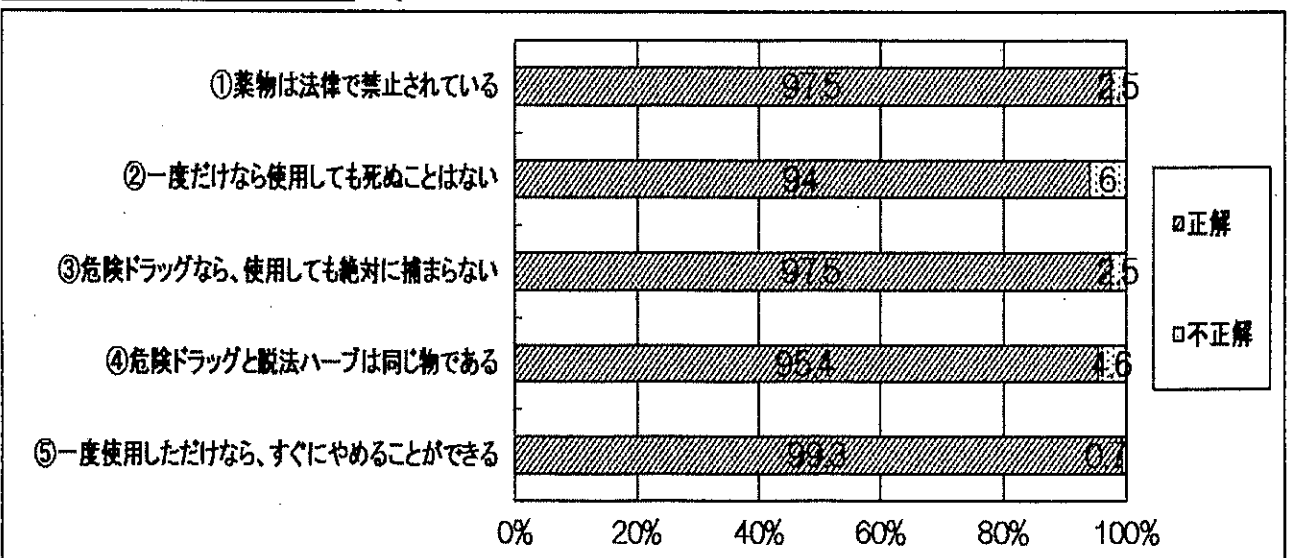


### ☆薬物に手を出さないために

- ① きっぱりと「いやだ!」と言うこと。
- ② 誘われるような危険な場所に近づかないこと。
- ③ 危険を感じたら、その場からすぐに立ち去ること。



### ☆事後アンケートの結果 Q.正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。



## ☆ロールプレイングの様子 (薬物を誘われてしまう危険な場面と断り方)



### ☆講師 学校薬剤師の樋口先生



### ☆準備から司会進行を務めてくれた保健委員



### ☆感想

- ・脱法ハーブと危険ドラッグは少し違うものだと思っていたので、一緒だと聞いて驚いた。
- ・ロールプレイングも面白かったし、分かりやすくして良い見本になった。
- ・樋口先生が「薬物に脳を乗っ取られる」と言っていたことと、2人に1人が薬物に誘われるということが印象に残った。
- ・薬物は一度使用しただけでも死ぬことがあるのには驚いた。
- ・薬物を吸ってしまうと、家族や周りの人たちに迷惑をかけてしまったり、自分にとっても最後は辛くなるということが分かった。
- ・DVD やロールプレイングのおかげで、どのような場面で危険ドラッグに関わることがあるのかが分かった。学んだとおりに、しっかりと断りたい。
- ・薬物を使うとどうなるかは聞いたことがあるけど、実際にDVDで見ると、言葉で言うよりももっと恐ろしく深刻なものだということが分かった。とても怖かった。
- ・薬物を使用することによって、自分の大切な未来を悪い方向へもってってしまうなんて、絶対に嫌だと思った。
- ・勧められたり、苦しい時があったとしても、薬物には頼らないようにしたい。

### 「正しい知識」と「キツバリと断る勇気」が大切！

今の世の中は、さまざまな情報をインターネット等でいち早く得ることができます。しかし、何が正しい情報なのか自分の判断では決められないこともあります。今回、樋口先生や保健委員から聞いた話を忘れずに、自分の身体は自分でしっかりと守っていきましょう。そして、どんな時も毅然とした態度で向き合えるように「誘惑に負けない、強い精神」を養っていきましょう。



【振り返りアンケートの答え】 ①○ ②× ③× ④○ ⑤×